

諮問委員会「答申発表会」を開催

～ 3日間で役職員400名が参加 ～

大阪シティ信用金庫（本店 大阪市、理事長 高橋知史）は2月12日（水）～14日（金）の3日にわたり、諮問委員会の「答申発表会」を本店10階研修室で開催しました。

本委員会は、職員が新たな業務への取り組みや経営改善に向け、自由闊達に意見を交わし、提案を取りまとめて答申することを目的に、昭和58年に「各種研究会」としてスタートしました。これまでに195のテーマに延べ1,313名の役職員が取り組み、各年度の事業計画にも反映してきました。

今年度は、当金庫が直面する経営課題の3つのテーマについて、それぞれ2班、計6班24名の委員が半年間議論し、提案をまとめました。発表会は、テーマ毎に3日間に分けて開催し、各委員長および委員からの発表の後、活発な質疑応答が行われました。

本委員会での意見や提案が金庫経営に積極的に取り入れられることで、職員が刺激を受け成長する場となっており、今後も継続実施してまいります。

記

1. 開催日時 令和2年2月12日（水）～14日（金）18時～19時30分
2. 開催場所 本店10階研修室
3. 参加者数 400名（3日間）
4. テーマ
(1) 課題解決につながるコンサルティング業務の展開
(2) 金融環境の変化を捉えた外部機関との連携・提携
(3) 顧客ニーズをとらえた店舗・チャネル戦略



発表の様子



挨拶をする高橋理事長

以上



本件はSDGs（持続可能な開発目標）の考えに基づいた取り組みのうち、右記の目標に寄与するものです。

